

## 11月30日は人生会議の日

## “自分の想い”を伝えていますか？

## 人生会議とは…

自分らしく人生を生きるための取り組みです。もしもの時のため、自身が望む医療やケアについて家族や様々な専門家で構成する医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。  
今回は本市で実際にあったAさんの事例とそれに携わったチームの皆さんのお話を紹介します。



Aさん

## 大切にしたい母の想い

進行がんと診断された母は認知症を患っており、自分では意思を伝えられない状態でした。病院に入院し治療を続けていましたが、私は母の最期を迎える場所について、決断を迫られました。ふと「家に帰りたくない」とこぼした母の言葉で、残り時間を家で過ごしてもらうことに決めました。でも、本当に自宅で療養できるのかと不安でした。

## 患者さんやご家族に寄り添うこと

患者さんが安心して退院後の生活を送れるよう、医療スタッフ・介護支援専門員等の調整をします。Aさんは、慣れない介護への不安と、お母様と一緒にいたいという葛藤がありました。その度に想いを受け止め、必要な医療・介護を分かりやすく整理する等、不安の軽減に努めました。揺れ動く気持ちに寄り添いながら支援することを大切にしました。



安城更生病院 地域医療連携課  
退院コーディネーター  
看護師 鈴木千晴さん

## 患者さんやご家族の想いを共有

自宅で療養される場合、かかりつけ医だけではなく、様々な職種のスタッフが関わります。職種間での情報共有のツールとして、安城市の「サルビー見守りネット」という仕組みを使い、チーム全体でお母様の生きてこられた歩みや、Aさんの想いを共有して、何が最善かを考えるようにしていました。



アイエムクリニック・安城  
院長 岡本雅彦さん

## 安心して自宅で過ごせるように

介護保険サービスの相談を受けると、人によって希望は違い、その理由も様々です。「できるだけお風呂に入りたい」「この時間は誰かにいてほしい」等、お母様やAさんとの会話から、最大級希望を叶え、大切な時間を過ごしていただけるよう意識してサービスの調整をしました。



更生介護保険センター  
主任介護支援専門員  
新美千寿代さん



更生訪問看護ステーションの皆さん

## 信頼関係を築くこと

Aさんは日に日に変わるお母様の様子に、いろいろな葛藤があったかと思います。その気持ちに寄り添いながら、お母様の病状について段階を見ながら説明したり、一緒に必要な医療処置等をしたりしていました。会話を重ねていくうちに、徐々にAさんの覚悟も固まっていった印象がありました。Aさんやご家族は積極的に介護に参加され、最期はご家族皆様さんでお見送りできました。

自宅で看取ることを決めるまでに、たくさんの迷いや不安がありました。その都度、家族や、かかりつけ医・看護師・介護支援専門員・ヘルパーの皆さんに相談し支えてもらい、自分の決断に向き合うことができました。退院から亡くなるまでの4週間、母は自宅で家族と過ごすことができたので、これで良かったのかな…と思っています。



Aさん

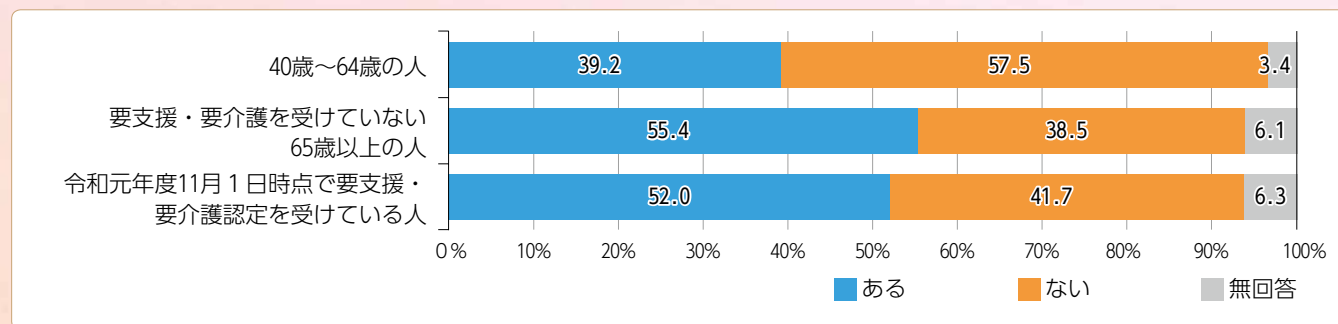
人生の最期がいつ訪れるのかは誰にもわかりません。Aさんの事例のように、ご本人の意思を推測することが難しい場合もあります。また、想いは状況によって変わるものです。日頃から、想いを見える形で残したり、大切な方に伝え共有したりすることが人生会議であると思います。

安城市在宅医療サポートセンター  
看護師 森紀子さん

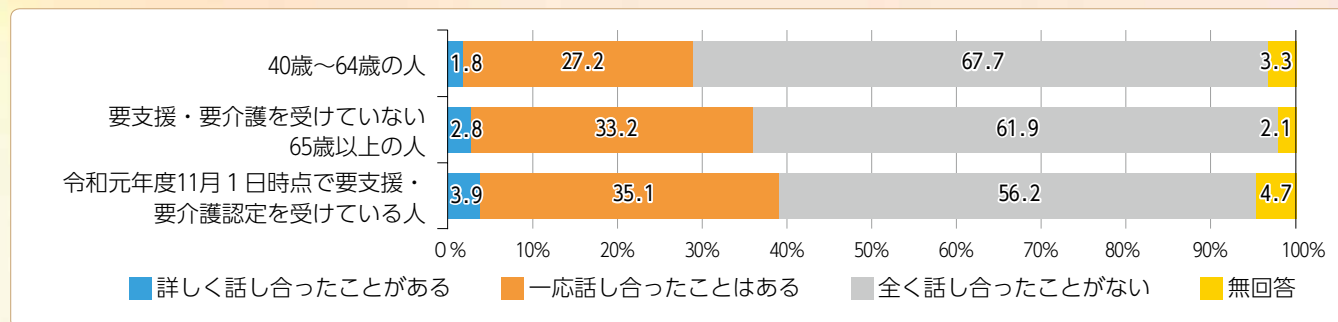
## あなたは「望む生き方」を考えていますか？

市では、令和2年度に40歳以上の市民8367人を対象に、人生の最終段階における医療・介護についての意識調査を行いました。※市高齢者等実態調査報告書(令和2年3月)抜粋。

あなたはこれまでに人生の最終段階における医療・介護についてに考えたことがありますか？



あなたは人生の最終段階で、受けたい医療・介護、受けたくない医療・介護について、ご家族や医療介護関係者等と話し合ったことはありますか？



調査の結果、要支援・要介護認定を受けたり、年齢が上がったりするにつれ人生の最終段階について考える人の割合が増えていますが、半数以上の人々が、自分の想いについては話し合ったことがないことが分かりました。



<安城市の目指す姿>

## 本人が望む場所で自分らしく最期まで今を生きる

安城市は、すべての人が人生会議をできる体制をつくる必要があると考えています。誰にでも起こりうる「もしものとき」に備えて、あなたが望む生き方、それを支える医療や介護について人生会議を通じて考えてみましょう。「一日の中で大切にしている時間は何か？」等ささいなことでも人生会議の一步です。

この機会に、自分の大切にしている時間や想いを周りに伝えてみませんか？

人生会議の詳細は厚生労働省のホームページに掲載されています(右記QRコード参照)。

